

◆ 2019年度 司法福祉全国研究集会 ◆

地域福祉と刑事司法との連携

～地域再犯防止推進モデル事業から政策提言を考える～

再犯防止推進法や再犯防止推進計画に基づき、国と地方公共団体の協働による地域における効果的な再犯防止対策の在り方を調査するため、昨年度から、地方公共団体では①地域の実態調査と支援策の策定、②モデル事業の実施、③事業の効果検証・地域再犯防止推進計画の充実といった一連の取組、「地域再犯防止推進モデル事業」が3年度間にわたって実施されています。

本研究集会では、地域再犯防止推進モデル事業を受託した都道府県社会福祉士会の取り組みを通じて、罪を犯した高齢者や障害者等に対する刑事手続きの現状や問題を捉え、今後の課題や本領域における社会福祉士のあり方を考えることを目的に開催します。

1. 開催日：2019年11月30日（土）

2. 会場：中央大学駿河台記念館（東京都千代田区神田駿河台3-11-5）

3. プログラム(予定):

時間	内容
10:30～10:40	オリエンテーション、開会挨拶
10:40～11:25 (45分)	行政報告「地域再犯防止推進計画」 講師：岡本 泰弘 氏 (法務省大臣官房秘書課 企画再犯防止推進室 再犯防止推進担当 補佐官)
11:25～12:25 (60分)	講演「加害者家族支援の現状～地域における再犯防止に向けた取組～」 講師：阿部 恭子 氏 (特定非営利活動法人 World Open Heart 代表)
12:25～13:20	昼食休憩 (55分)
13:20～14:50 (90分)	基調講演「地域福祉と刑事司法との連携」 講師：古曳 牧人 氏 (駿河台大学 心理学部 教授)
14:50～15:05	休憩 (15分)
15:05～17:35 (150分)	シナリオ「地域福祉と刑事司法との連携～都道府県における社会福祉士会の取組～」 コーディネーター：木下 大生 氏 (武蔵野大学 人間福祉学部 准教授) シンポジスト：西田 利昭 氏 (一般社団法人奈良県社会福祉士会) 中川 英男 氏 (公益社団法人滋賀県社会福祉士会) 百枝 孝泰 氏 (公益社団法人福岡県社会福祉士会)
17:35	閉会
18:00～20:00	懇親会(希望者のみ)

4. 参加対象：社会福祉士、または司法福祉に関心のある方

5. 定員：100名（先着順）

※上記定員以外に都道府県社会福祉士会の推薦枠があります。推薦に当たっては要件がありますので、詳細は都道府県社会福祉士会にお問い合わせください。

6. 参加費：都道府県社会福祉士会の会員 9,000円 会員以外 12,000円(資料代含む)

7. 懇親会：参加費 4,000円（希望者のみ）

8. 申込締切：2019年10月23日(水)まで

◆ 主催・問い合わせ先：公益社団法人日本社会福祉士会 ◆

〒160-0004 東京都新宿区四谷1-13 カタオカビル2階

TEL:03-3355-6541 E-Mail:kenshu-center@jacsw.or.jp

◆ 講演「加害者家族支援の現状 ～地域における再犯防止に向けた取組～」◆

講師：阿部 恭子 氏（特定非営利活動法人 World Open Heart 代表）

1977年宮城県仙台市生まれ。

東北大学大学院法学研究科博士課程前期修了（法学修士）。

2008年大学院在学中、任意団体 World Open Heart を設立し、2011年法人格取得。日本で初めて犯罪加害者家族を対象とした支援活動を行う。

著書『息子が人を殺しました—加害者家族の真実—』（幻冬舎新書、2017）など。



◆ 基調講演「地域福祉と刑事司法の連携」◆

講師：古曳 牧人 氏（駿河台大学 心理学部 教授）

1998年、神戸大学大学院文学研究科社会学（心理学）専攻修士課程修了。

府中刑務所分類審議室統括矯正処遇官（考査担当）、法務省矯正局成人矯正課処遇第三係専門官等を経て、2012年から駿河台大学心理学部で勤務。専門は犯罪心理学。

日本犯罪心理学会編集委員、日本社会福祉士会リーガル・ソーシャルワーク研究委員会委員（2012～2019）。

著書『犯罪心理学事典』（丸善出版、2016、分担執筆）など。

◆ 申込方法 ◆

以下に掲載しているQRコードもしくはURLから、「研修申込フォーム」にアクセスし、必要事項を入力後、送信ボタンを押してください。受付が完了すると、申込フォームに入力されたメールアドレス宛てに「申込完了メール」が届きます。

※上記方法での申込みが難しい場合には本会ホームページに掲載している所定の「参加申込書」をダウンロードし、必要事項を入力後、Eメールにて送信ください。メールの件名には「司法福祉全国研究集会」とご入力ください。なお、メール本文に必要事項を入力するなど、所定の参加申込書の添付がない場合には受付しかねますのでご注意ください。

※研修申込フォームにて、10月23日（水）23:59までに送信された申込みが有効となります。

※Eメールでの申込みも上記日時（本会受信時間）到着分までが有効となります。



【研修申込フォーム】

<https://reg18.smp.ne.jp/regist/is?SMPFORM=oard-teqet-07d931f305b1ed45d7db8cc023931916>

◆ 研修単位等 ◆

○本研究集会は、すべてのプログラムを修了することで、生涯研修独自の研修・実績（①社会福祉士が行う研修で認定社会福祉士制度の認証を受けていない研修）の5.5時間となります。

○参加の可否は、11月初旬に書面で通知します。併せて、会場案内、参加費の入金方法、キャンセル等の扱い等についてもご案内します。

○お預かりした個人情報は当研究集会の運営目的以外には使用いたしません。

○本研究集会への参加に際して、配慮が必要な点等ありましたら通信欄へご記入ください。

○宿泊が必要な方は、ご自身で手配ください。

○自然災害等の発生により、やむを得ず当研究集会を中止する場合があります。中止の判断基準等については、本会ホームページ生涯研修センター日本社会福祉士会主催研修情報「自然災害等発生時の研修会運営の判断について」をご覧ください。

○上記により、当研究集会の中止を主催者側が判断した場合、参加費は返金します。（地震による中止の場合は返金の対象とはなりません）

○自然災害等の発生により、当研修会を開催しない場合、本会ホームページ「生涯研修センター最新情報」にてお知らせします。